

# 中期経営計画

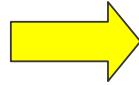
## “成長に向けた新たな挑戦”

2004年7月29日  
アンリツ株式会社  
社長 塩見 昭

# アンリツの目指す事業

## これからの市場の牽引

3つのデジタルと  
ブロードバンドインターネット

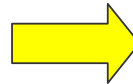


## 2010年の市場の牽引

- ・ユビキタスネットワーク社会
- ・ネットワークのコンバージェンス

## アンリツの目指す事業

- ・3Gを核とするワイヤレス計測
- ・RFマイクロ波計測
- ・ブロードバンドIP計測
- ・映像配信・電子部品検査等  
新たな事業を育成



## アンリツの目指す事業

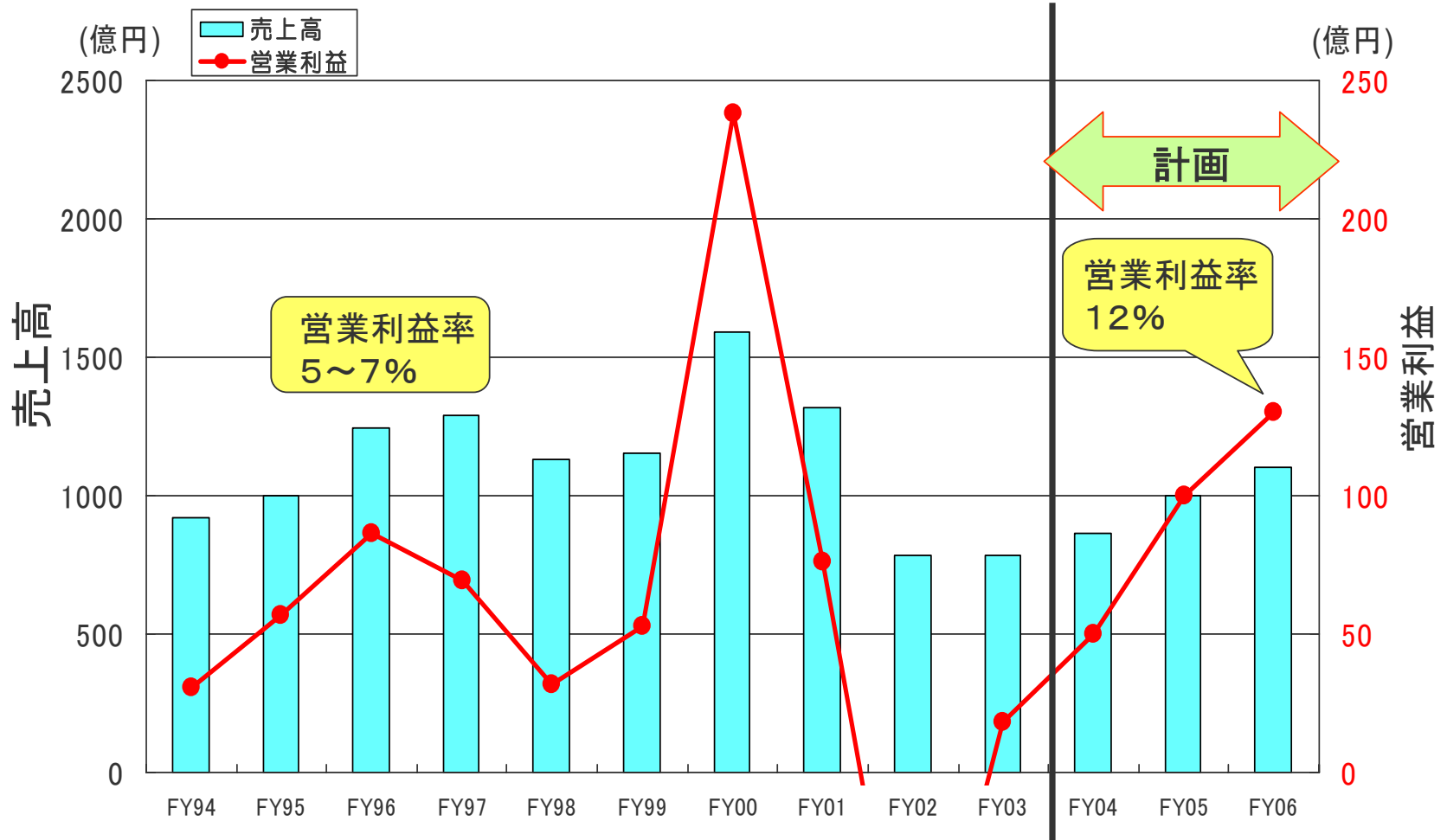
- ・ネットワークのQoS
- ・装置・端末・モジュールの  
開発、製造、建設保守用計測
- ・コンテンツ・アプリケーション開発  
ツール

## どのようにして実現するか

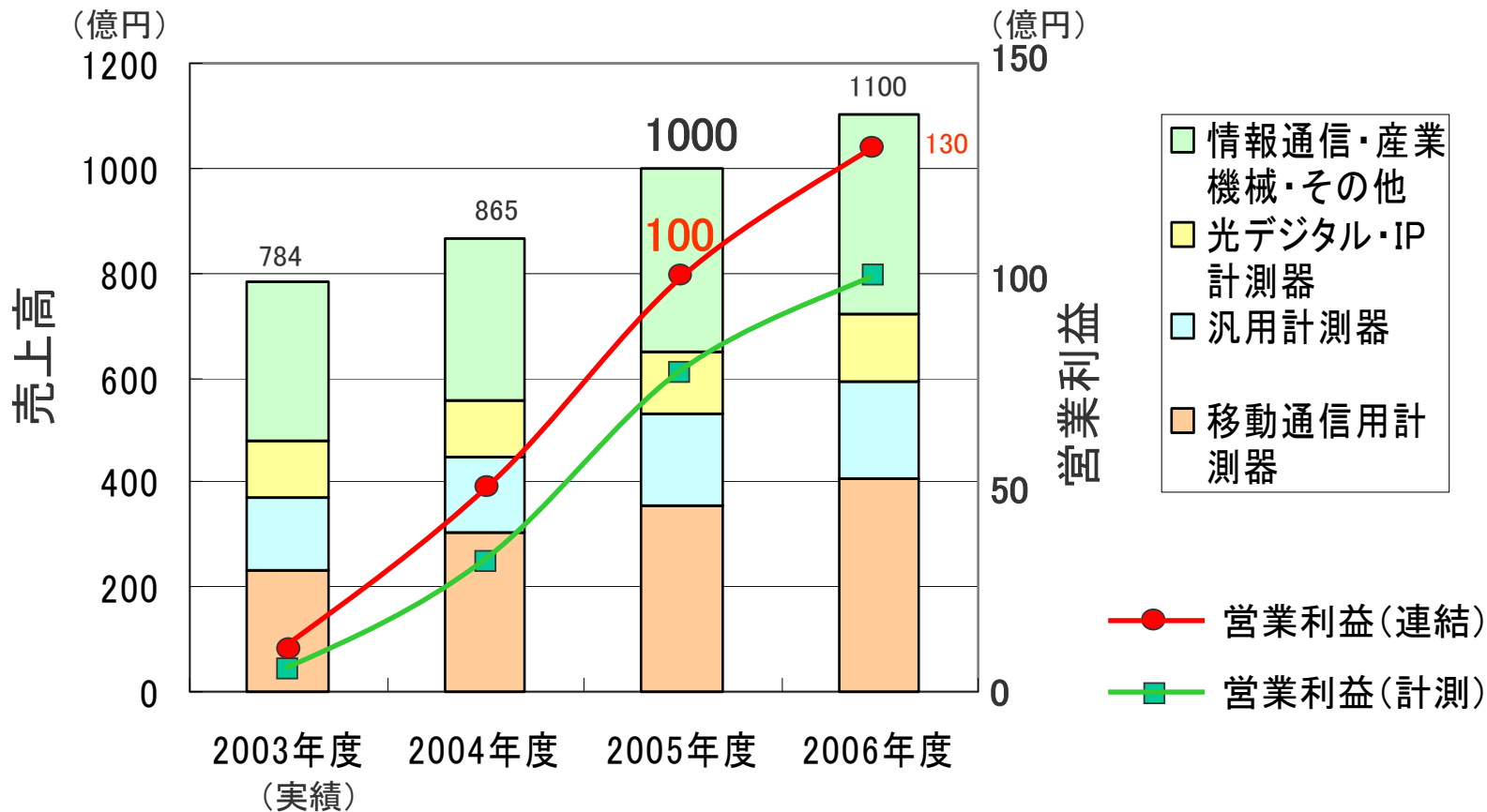
- ・知の製造業をすみずみまで浸透
- ・グローバルで一級のブランド確立  
(マーケットドリブン、カスタマフォーカス)
- ・半歩先行するスピード経営

(注) 3つのデジタル：  
デジタル携帯電話  
デジタル放送  
デジタル家電

# 売上高・営業利益計画(連結)



# 売上高・営業利益計画(連結)



# 事業マップ

■市場		■アンリツの取り組み
		<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #00FF99; border: 1px solid black;"></span> 計測 <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #FFFF99; border: 1px solid black; margin-left: 10px;"></span> 計測以外
3つのデジタル	デジタル携帯電話	3Gを核にマルチ方式用計測器を全世界に展開
	デジタル放送	デジタル放送用計測器で市場開拓
	デジタル家電	高精細プリント板の印刷はんだ検査機、FPD検査機で市場拡大
	3つのデジタル用SoC	SoC用RF半導体テスタで市場開拓
ブロードバンドIPネットワーク	ブロードバンドインターネット	IPアクセスネットワーク用計測器、EoS計測器、スイッチ・ルータ計測器でグローバル展開
	映像配信システム	高品質映像配信ソリューションを提供
	光デバイス	通信用を基軸に、非通信用分野を拡大
ユビキタスネットワーク	無限に広がる通信応用	ネットワークのQoS計測器、コンテンツ・アプリケーション開発用計測器を提供 多様な機器の開発製造用に汎用計測器で対応
食品・薬化品	製造ラインにおける品質保証	異物検出や計量検査で、世界に品質保証ソリューションを展開

Discover What's Possible™

- \* FPD: フラット・パネル・ディスプレイ
- \* SoC: 端末機器の主要機能を搭載したチップ (System on Chip)
- \* EoS: Ether over SONET

**Anritsu**

# 計測器事業のビジョン

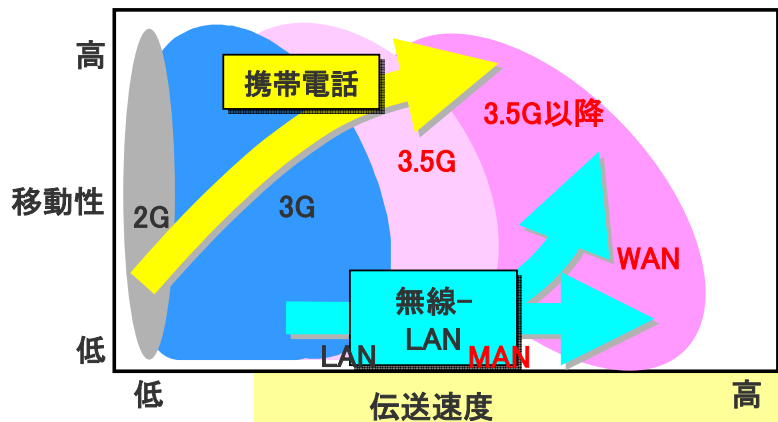
## グローバルなマーケットリーダーになる

- 一流のT&Mサプライヤになる
- 3GワイヤレスT&Mで世界のリーダーになる
- 汎用・IP測定器で世界トップブランドになる



- マーケットドリブン、カスタマフォーカス
- 顧客対応力の強化

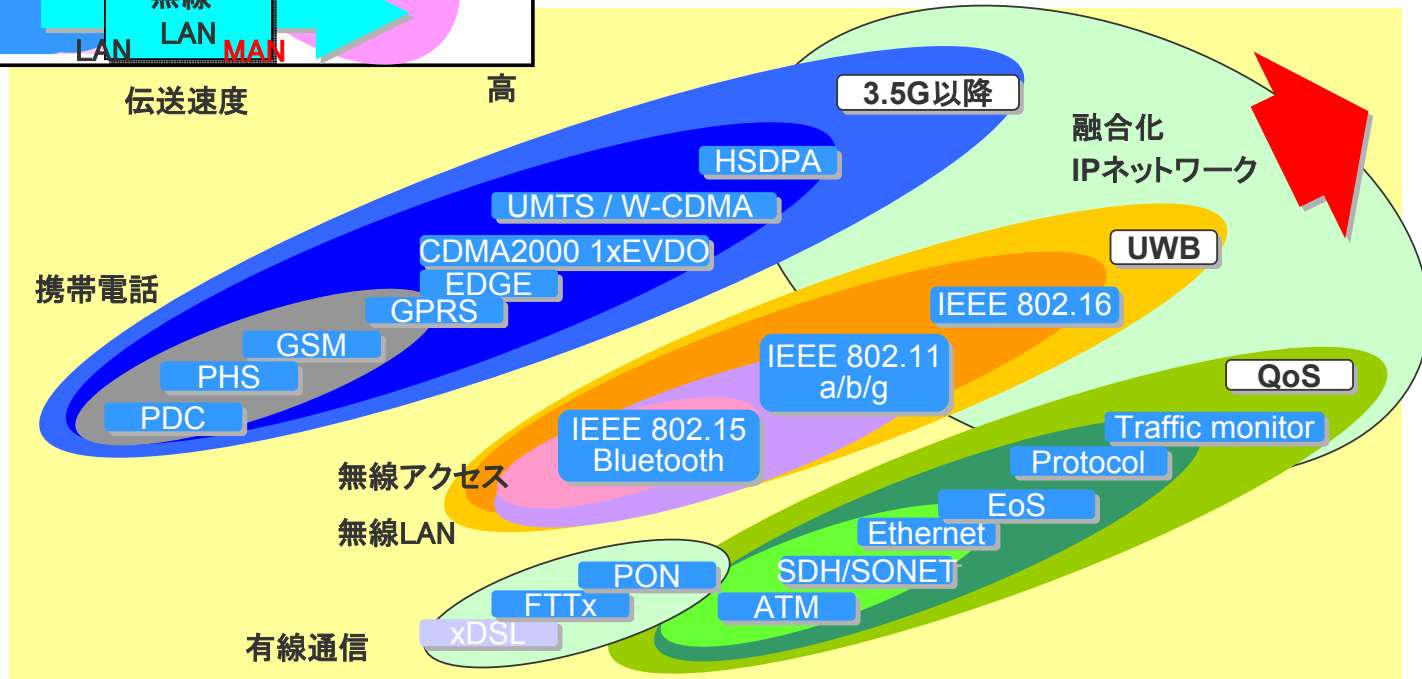
# 通信ネットワークの融合を最先端の技術力でリード



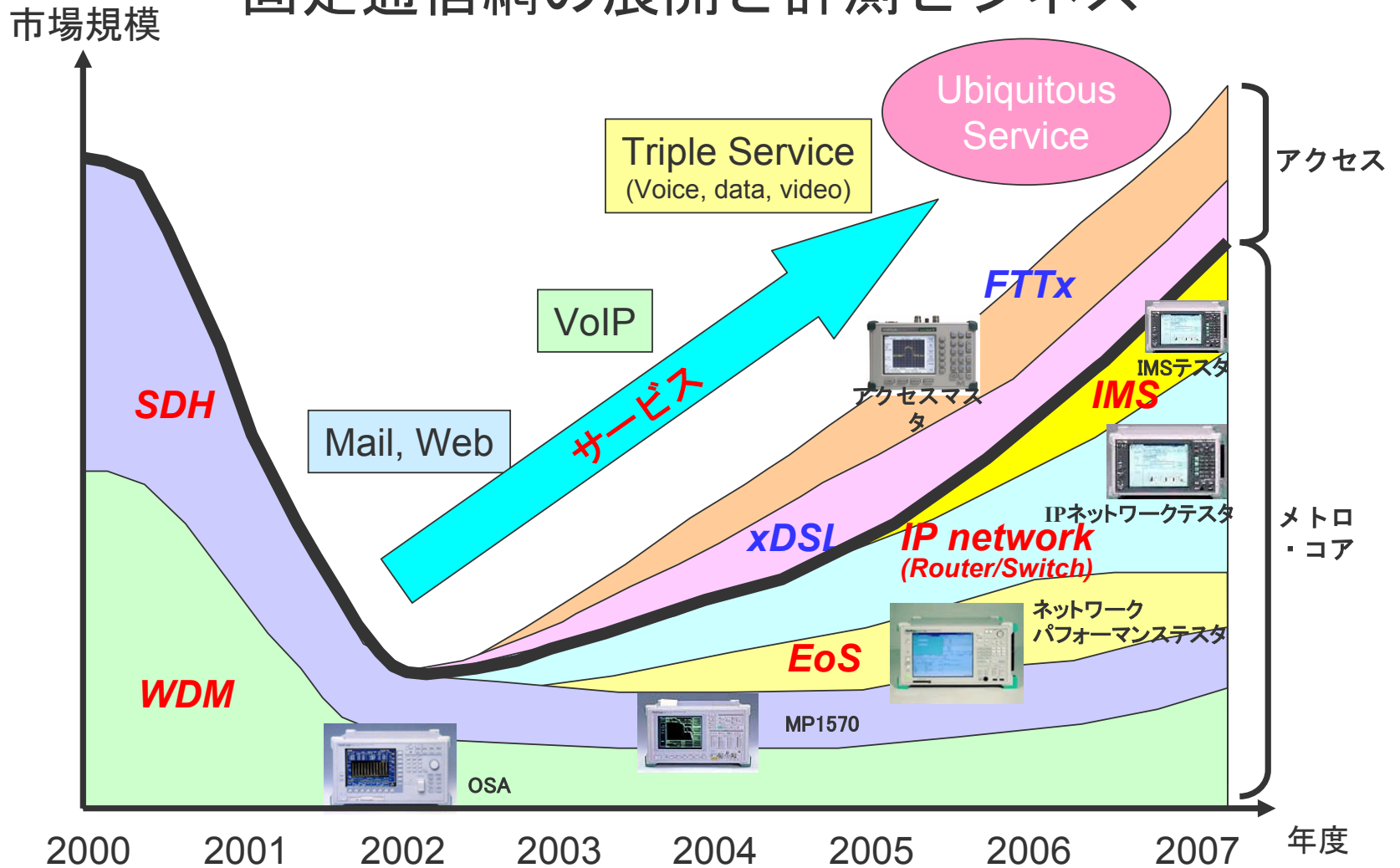
各種アクセス通信ネットワークは、  
高速化、高移動性、IP化で融合

アンリツの技術力

- : 保有技術
- : 今後強化する技術



# 固定通信網の展開と計測ビジネス

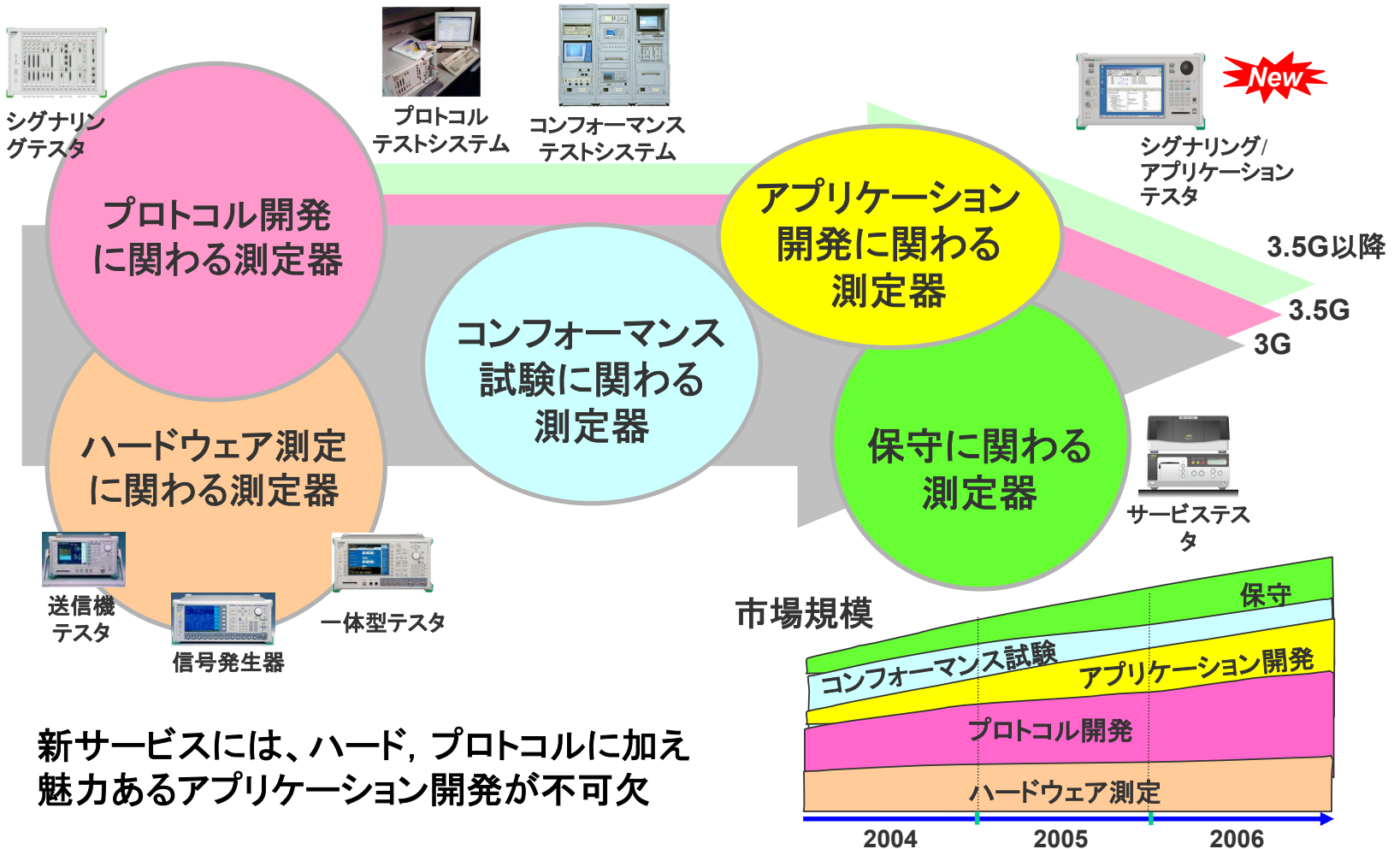


Discover What's Possible™

Anritsu



# 移動通信用計測事業の展開①



Discover What's Possible™

Anritsu

# 移動通信用計測事業の展開② 海外事業の拡大

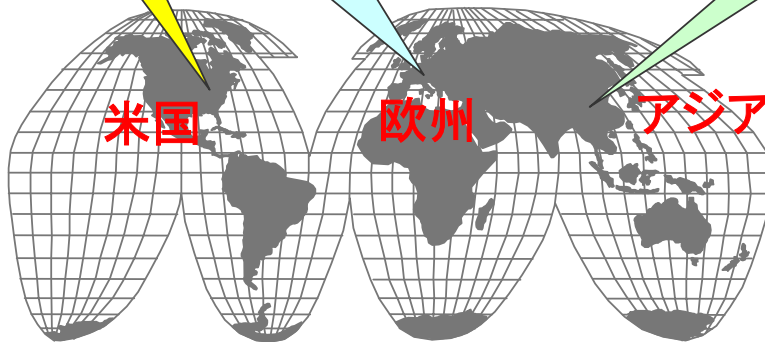
## アンリツの強み

- 国際規格化活動への貢献 : 3GPP TSG-T1 Sub Chairman
- 各国標準化機関との協調 : CATR(中国)、RFI(英国)
- De Facto Standardの提供 : 3GPP Protocol Test
- 世界で初めて3.5G (HSDPA)対応SGと送信機テストを開発した技術力

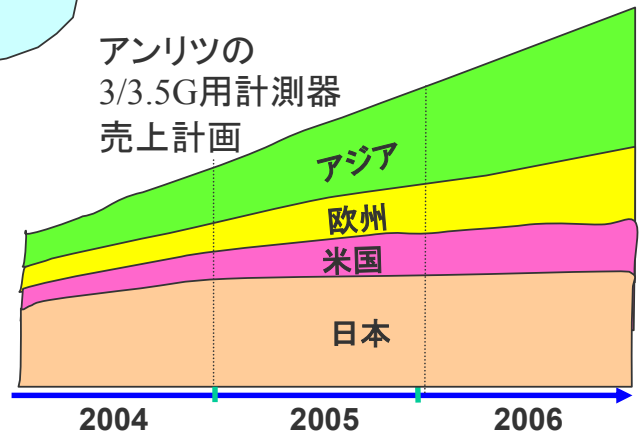
UMTSおよびCDMA2000 1x→EV-DOの導入、HSDPA対応機器開発をターゲットとする事業

UMTSおよびEDGEの導入、HSDPA対応機器開発をターゲットとする事業

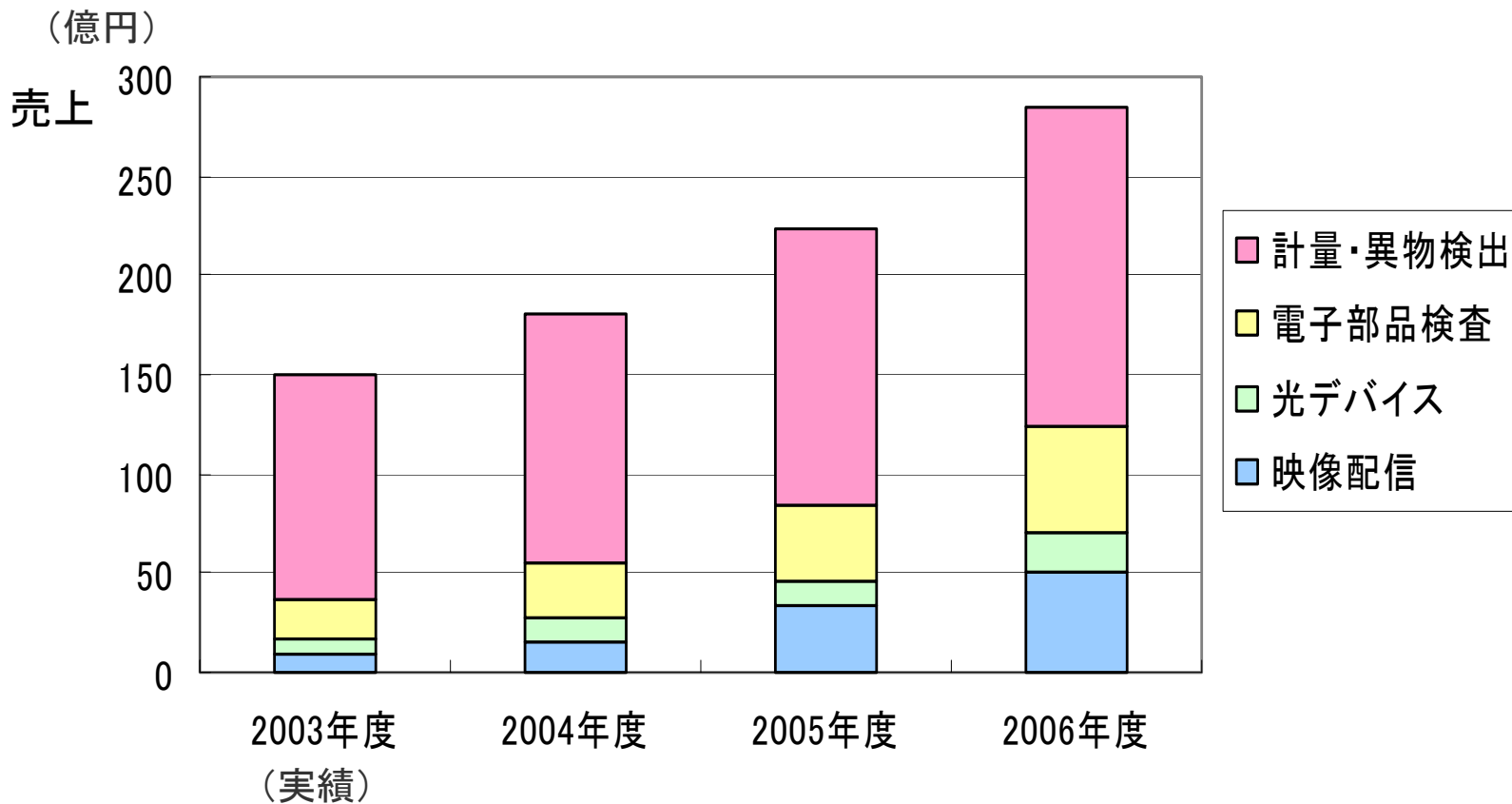
3/3.5G端末開発と基地局建設、2/3G端末製造をターゲットとする事業



アンリツの  
3/3.5G用計測器  
売上計画



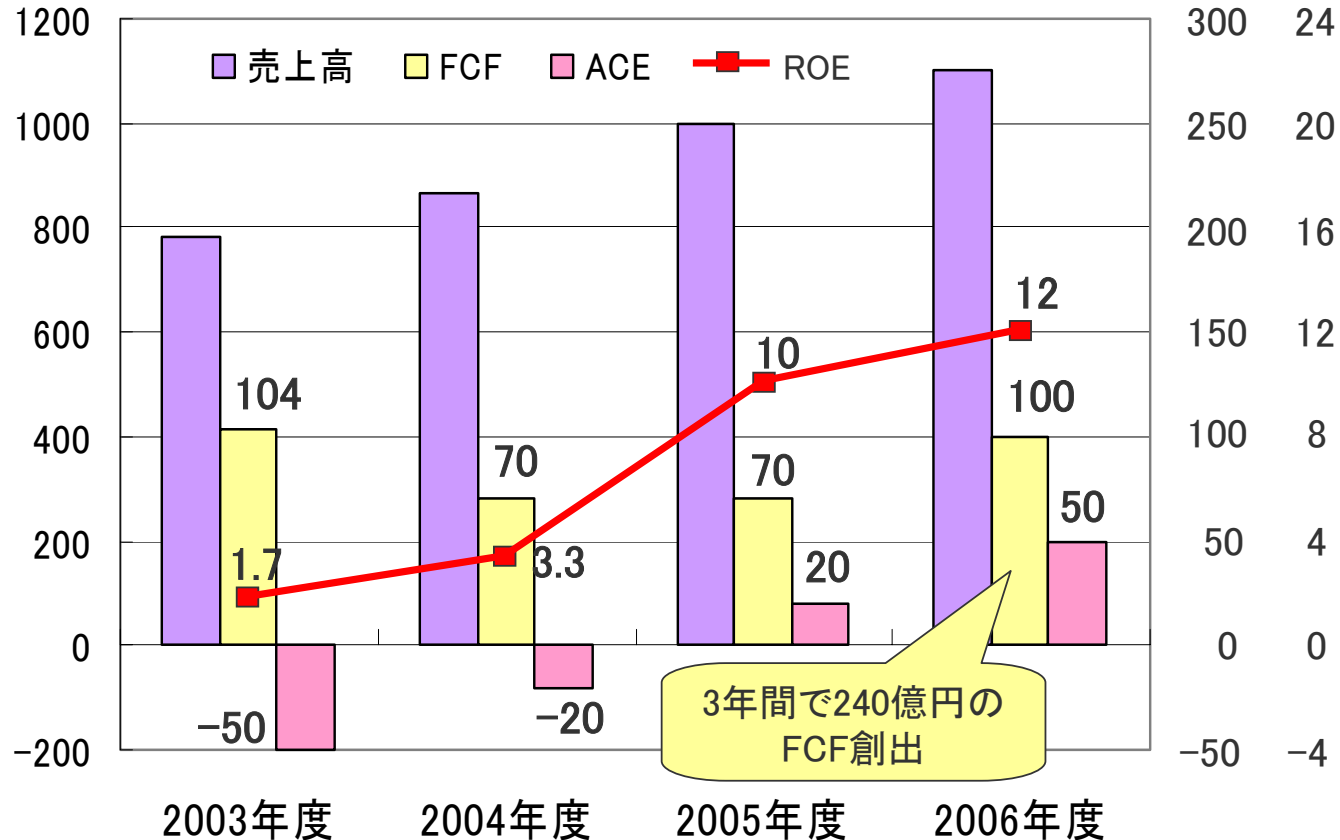
# 事業戦略 - 育成事業の売上計画



# 企業価値の向上

売上高(億円)

FCF,ACE(億円) ROE(%)



Discover What's Possible™

◆ACE: アンリツ独自の事業評価指標  
Anritsu Capital-cost Evaluation (税引き後営業利益 - 資本コスト)

Anritsu

# 注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的  
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を  
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関す  
る説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」や  
その類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざ  
まな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきく  
ださい。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、  
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や  
競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き  
続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、  
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、  
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。